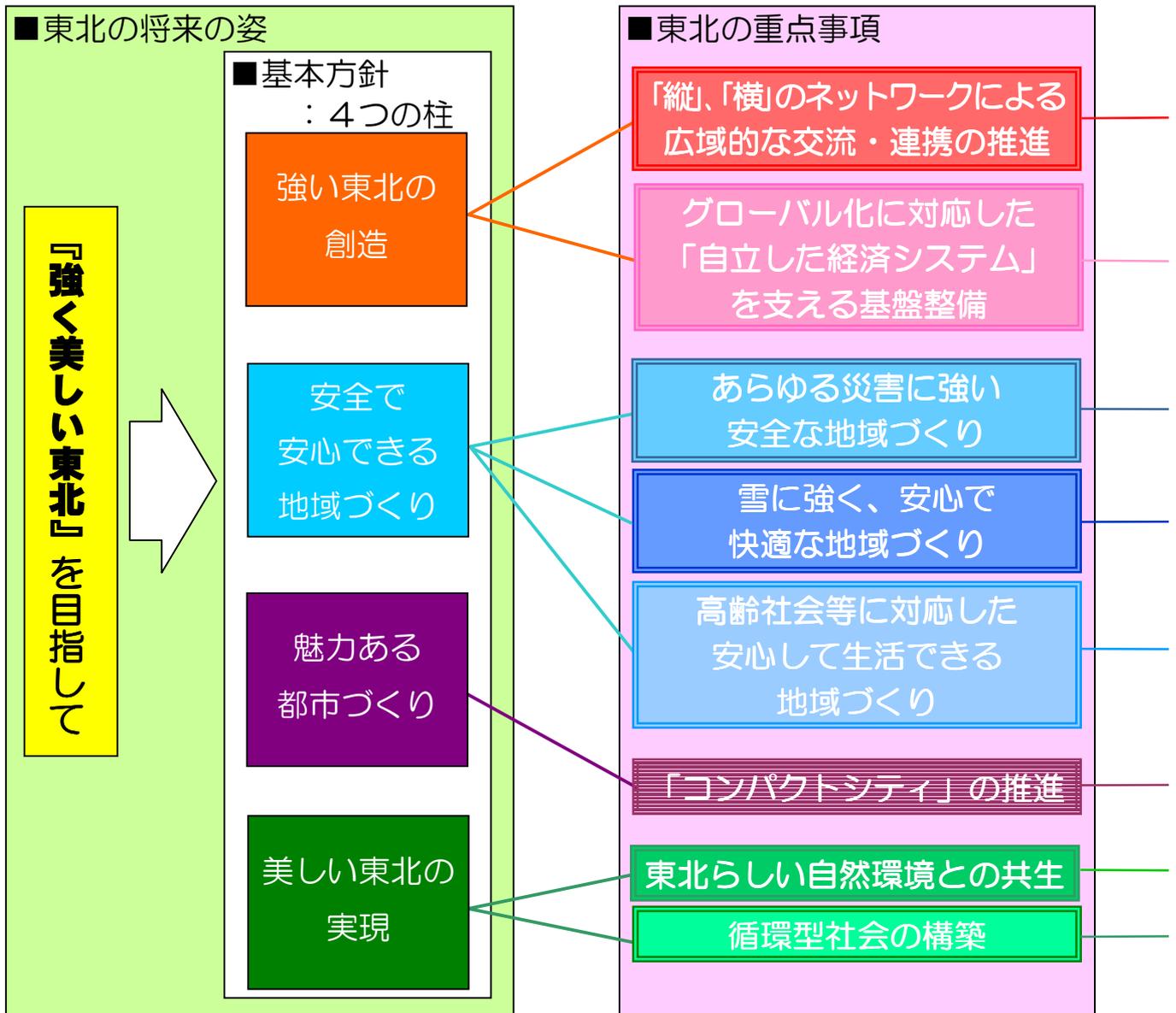


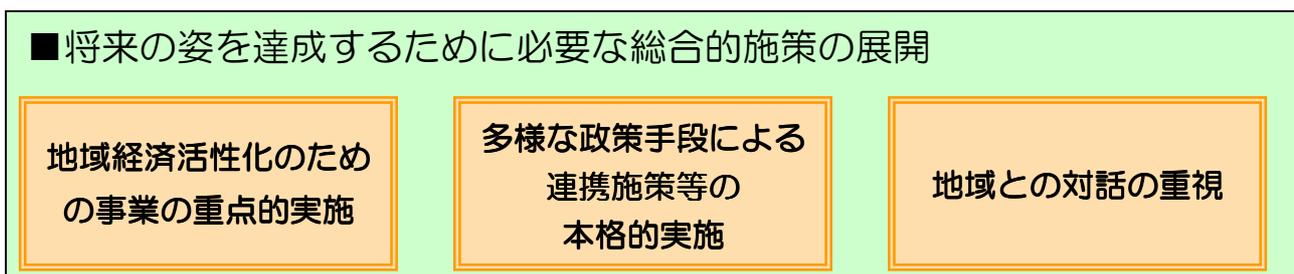
東北ブロックにおける重点事項

1. 社会資本整備における東北の重点事項と目標

東北ブロックの将来の姿「強く美しい東北」を実現するために重点事項に応じた目標を設定し、関係する事業を適切に組み合わせ、効果的かつ効率的に社会資本整備を進める。



社会資本整備を進めるにあたっては、目標を達成するために必要な施策を、総合的に展開していくものとする。



■目標

東北経済の発展等を支えるため、格子型的高速道路ネットワークの形成、新幹線鉄道等の幹線鉄道の整備を図る。

地域間の交流・連携を図るため、都市間距離や峠越を克服する。

空港、新幹線駅、インターチェンジ等の高速交通拠点へのアクセス機能の向上を図る。

貿易構造の変化に対応するため、国際物流ネットワークの形成を図る。

産業競争力を強化するため、港湾の物流機能の充実、高速交通ネットワークの整備等を図り、物流のスピード向上、コストの低減、安全性・定時性・信頼性を確保する。

利用者の利便性向上を図るため、港湾、空港等へのアクセス機能の向上などマルチモーダル交通体系を構築する。

積極的にITを活用し、物流の効率化等を図る。

大規模地震や津波に備え、土木施設及び建築物の耐震化や防災施設の整備を図るとともに、緊急物資輸送が行えるなど安全で信頼性の高い道路網の形成、耐震強化岸壁を備えた港湾の整備等を行う。

河川氾濫や高潮、土砂災害、火山活動などの災害を防ぐため、防災施設の整備等を行う。

災害時に迅速な対応を行えるよう、ITを活用した情報基盤の整備と、地域や関係機関と情報共有を図るなど、危機管理体制の充実を図る。

都市の防災対策を進めるため、防災上危険な市街地の改善や事業連携による浸水対策などを推進する。

雪による暮らしの障害を克服するため、冬期歩行空間確保など冬期バリアフリー対策を進める。

地域間の交流・連携を促進するため、豪雪や地吹雪などに対する除排雪の強化等雪対策を行う。

誰もが安全・快適に暮らせる生活環境づくりを進めるため、公共空間、住宅・建築物におけるユニバーサルデザインの導入等や交通安全対策等を行う。

高度医療施設までの所要時間を短縮するため、「命を守る道路」など交通基盤の整備を図る。

中心市街地の活性化等を図るため、交通結節点の機能強化、街なか居住、無電柱化の推進等により魅力ある都市への再生を進める。

都市圏の交通の円滑化、環境の改善を図るため、道路交通渋滞対策や都市鉄道の整備等公共交通ネットワークの強化を行う。

住民等が快適な生活を送ることができるよう、水と緑に親しめる都市環境の形成、沿道環境の改善を図る。

生態系の保全などに配慮しながら、自然との共生・調和を目指した社会資本整備を図る。

自然の豊かさを実感できるよう、流域環境・海域環境の保全及び改善を図る。

地域の特性を活かして、利用しやすい親水空間の整備を行う。

東北の豊かな自然・歴史・文化などを実感できる個性的なまちづくりや観光振興・交流拠点の整備を行う。

社会資本整備等において、建設廃棄物の発生抑制、廃棄物の再資源化、建設発生土の有効利用など徹底したリサイクルを推進する。また、既存ストックの有効活用を図る。

資源の有効活用を目指して、静脈物流システムの整備を図る。

健全な水循環の確保のため、貴重な水資源の保全・開発・有効活用を図る。

風力、地熱、水力、太陽光等を利用したクリーンエネルギーの積極的な導入を図る。